

知られざる西アフリカの美術

富と権力、王国2000年の歴史



POWER, WEALTH AND ART IN WEST AFRICA



2003年2月21日金—3月23日日

開館時間=火—金曜日(9:30—19:00)/土・日曜日、祝日(9:30—17:00)

入室はいずれも閉館30分前まで、初日は午前10時開展式 休館日=月曜日

観覧料=一般1,000(800)円、高・大生600(480)円、小・中生300(240)円 ※()内は前売りおよび団体20名様以上の料金

※65歳以上の高齢者(長寿手帳等が必要)・身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料 ※土曜日は小・中・高生は入場無料

主催=高松市美術館、読売新聞大阪本社、美術館連絡協議会、西日本放送 後援=ナイジェリア大使館

協力=JAL日本航空株式会社 企画協力=アプトインターナショナル

Takamatsu City Museum of Art

高松市美術館

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4 Tel.087-823-1711

①鳥、儀礼用短剣の裝飾 アシヤンティ族、ガーナ

②高官の胸像 イフェ王国、ナイジェリア

③2頭のヒョウ ベニン王国、ナイジェリア ©SVK



知られざる西アフリカの美術

広大なアフリカ大陸のさまざまな地域で豊かな文明が栄え、とくに現在のナイジェリアを中心とする西アフリカ地域では古代から高い文化をもつ数々の王国が興りました。王国は15世紀頃からはじまる西欧諸国の入植、植民地化の歴史とともに衰退、消滅を余儀なくされる運命ですが、栄えた王国の歴史は確かな記録として美術品に刻まれています。その多くは富と権力を象徴する豪華なもので、けっして「プリミティブ」という言葉ではくれない、高度な技術と豊かな芸術性を示しています。

『知られざる西アフリカの美術』展は、アフリカ美術史のなかでも中心となる西アフリカの二千年におよぶ輝かしい歴史をたどり、その全体像を俯瞰することのできる日本ではじめての展覧会です。展覧会では、紀元前にすでに存在していたノク文化の洗練されたテラコッタ像をはじめ、12～16世紀頃イフェ地域でつくられた祈禱師などの神々しいブロンズ像、また16世紀頃のベニン地域で盛んであった祭壇を飾るブロンズ製レリーフや動物像などが紹介されます。さらに18世紀はじめから19世紀そして現在に至るまでなお栄える諸王国において王族や祈禱師のからだをまといつくすようにつけられたイヤリングやネックレス、腕輪などの装飾品の数々、黄金貿易で用いられた錘(すい/計量用の分銅)、そのほかにも仮面などの木の彫刻、家具からテキスタイルにいたる西アフリカに暮らす人々の造形など興味深い作品が出品されます。

アフリカの美術といえば、だれもが仮面や木の彫像を思い浮かべ、その造形が世界の現代美術の展開に大きな影響を与えた、という理解があるかもしれませんが、それはほんの一面にしかなしません。この展覧会を通してアフリカ美術の奥深い魅力と溢れる美を発見してください。



交通のご案内=JR四国-JR高松駅下車、南へ徒歩15分
コトデン-瓦町駅・片原町駅下車、徒歩10分/バス路線-紺屋町バス停下車、徒歩3分/駐車場-美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)

Takamatsu City Museum of Art
高松市美術館
〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4 Tel.087-823-1711



騎手の裝飾板 ベニン王国、ナイジェリア



多産祈願の像「アクア・バ」 アシャンティ族、ガーナ

ギャラリートーク(展示解説)

- ◎当館学芸員によるギャラリートーク
日時：2月22日[土]、3月8日[土] 午後2時から
 - ◎美術館ボランティア「civi(シヴィ)」によるギャラリートーク
日時：毎日曜日および祝日
(2/23、3/2、9、16、21[金・祝日]、23日)、
午前11時と午後2時からの各2回
- 場所：いずれも美術館2階展示室 *聴講には観覧券が必要です。



ヒョウの頭 ベニン王国、ナイジェリア



錘(死者の舟) バウレ族、コートジボワール



指輪(ドジョウ) アシャンティ族、ガーナ



王母のネックレス(部分) アシャンティ族、ガーナ



65の飾りのついたネックレス バウレ族、コートジボワール